

読む人の
心を願って
作る

no.519

喜びの タネまき 新聞



写真・阿部高嗣 雨のハーモニー

自分の周りは すべてお客様

入社して数年は営業、その後本社勤務になり、新しい事業を起こす部署に配属されました。しかし、何かから手をつけたらよいかわからず、毎週開催の提案会議の資料もまともならず、とても悩みました。必死の思いで仕上げた資料も取り上げてはもらえない。出勤するのも苦しくなつて、「もう会社を辞めようかな：」と思いつめた時期もありました。

そんなどん底の頃、先輩が「これ」と渡してくれた本に、「あなたの周りはずべてお客様と思いなさい」という一節があり、ふと、営業現場での自分を思い出しました。契約になるまでは断られるのは当然で、そのたびに挫けそうになりながらも、もう一軒もう一軒だけと自分を叱咤激励して、懸命に歩き続けたものです。

なぜ断られても断られても、お客様に提案し続けることができたのか。「お客様のために」との思いが強かったからです。「そうだからこそ、周りをお客様」と考えようと思った途端、霧が晴れたようになり、それ以来、上司に否定されてもダメを押されても、「この人もお客様なのだ」と考え、めげずに提案できるようになりました。

これからも「自分の周りはずべてお客様」と考え、行動して行きたいと思います。

株式会社タスキン社長

山村輝治

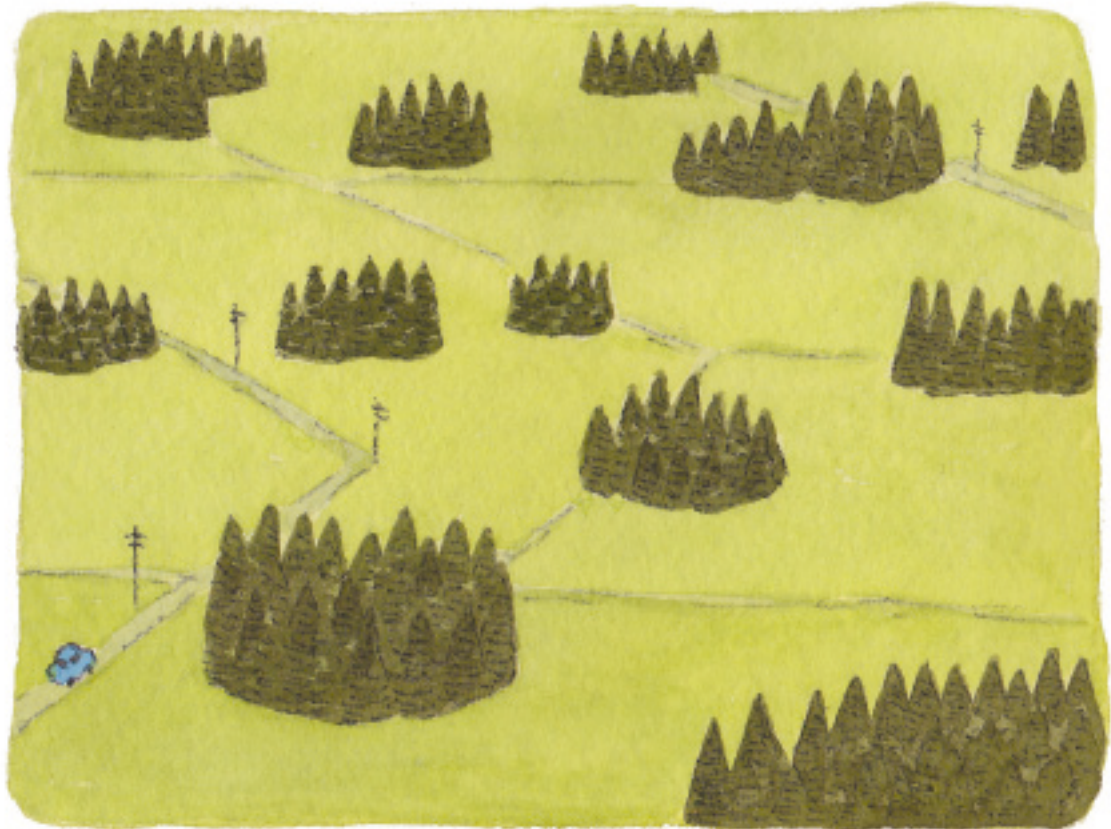
宮澤賢治の考えた理想郷。あの物語の中のノイギリス海岸は北上川の岸辺だったりするのだが…。絵や文学好きでなくても一度は訪れたい地、花巻への憧れの扉を開けて出会ったものは。

「イーハトーブを訪ねて」

絵と文 中村みつを

イラストレーター、画家。絵と文の作品は自然・旅・人がテーマで、心の和む温かさ。読売新聞夕刊のみなみらんぼうのエッセイ「一歩二歩山歩」に挿絵を描き、新聞連載最多記録14年目。日本山岳会会員。著書に「のんびり山に帰るのぼる」(山と溪谷社)、「お江戸超低山さんぽ」(書肆侃侃房)、「森のくらし」(リヨン社)など。

子どもの頃から宮澤賢治の世界の魅力にひかれていたぼくは、絵を描くといつもその物語を思った。でも、実際に訪ねたのは30歳を過ぎて大人になってからだった。岩手県花巻市の宮澤賢治記念館をひとめぐりし、山上の小径を行くと、美しい田園が足下に広がる。そのなかを釜石線が稲穂を揺らしながら走る。「銀河鉄道の夜」のモデルといわれた当時の岩手軽便鉄道は、ここを走っていたのだ。風が透き通ってきたみたいだ。そこへ、



「賢治さんが好きなんですか」
見るとどこぞつばりした街着の60歳くらいのおじさんが立っていた。頷くと、「これからどこへ行きたいの?」「うれしそうなお口調だ。」
「花巻の駅の近くに、昔の食堂があるから、行ってみたら? ゆっくり歩いていくといいよ」
その食堂は、今もやっているんだなあと感じるほど静かに時間の経った古さ。おじさんは賢治の生徒たちが現在も花巻にご存命の事実を、ひとつの自慢にもしていた。



花巻は賢治の生まれ故郷。イーハトーブという理想郷はここから紡ぎ出された。タクシーで羅須地人協会へ。運転手は50代の、さわやかでキビキビしたおばさんだ。

その建物は花巻農業高校の敷地内で、賢治が教えた部屋は思ったより小ぢんまりして、ひよこり「賢治先生」が現れそうだ。玄関横には、「下ノ畑二居リマス 賢治」と、さりげなく黒板が下がっていた。待っていてくれたおばさん運転

手が、
「私がとても好きなところがあるんです」と言う。タクシーに乗って着いたところは森の間に田園があちこち。開けていた西の空がもう赤く染まって「いったいここは、どこなんだろう…」次に行っても、もう見つからない土地なのではないか。なつかしくもあり、夢のようでもある。
気分が酔っていたかもしれないが、よく見ると普通の山河なのに、光彩を放つ。調和した組み合わせですべてがそろった理想郷はここだ。一瞬、分かった気がした。



素朴な味わい、東北地方の郷土菓子「ずんだ餅」

旬の枝豆を使ってずんだ餅を作ります。お土産用やおしゃれにアレンジしたものは数多くありますが、今回は家庭で作る昔ながらのずんだ餅。枝豆の風味、食感に加え、色鮮やかな緑が美味しさを引き立てます。

◎作り方(4人分)

●下準備

枝豆400gは、しゃもじで洗う。鍋にたっぷりと水を入れて煮立ったら、塩ひとつまみを入れて枝豆をしゃもじで加え、15〜20分中火で茹でる。通常よりも軟らかく煮ることがポイント。茹で上がった枝豆はざるにあけ、広げた状態で冷まし、粗熱がとれたらさやかに出して薄皮をむく。冷ましてから指で押し、薄皮は簡単にはずれ、むきやすくになります。この時点で正味200gくらいになる。



薄皮は必ず全部むく

冷凍枝豆を使用する場合は、流水で自然解凍してさやかに出し、同様に薄皮を取る。耐熱皿に平らに並べて、上から大さじ2の水をかけ、ふんわりとラップをしたら電子レンジで約3分加熱する。

●盛り付け

茹でた餅を器に盛り、上から枝豆餡をのせて完成。お餅は時間が経つとすぐにかたくなるので、出来立てをお召し上がり下さい。かたくなったお餅は、電子レンジで温めることをおすすめします。お好みできな粉をかけても美味しいですよ。



ずんだ餅

おやつ時間

簡単、美味しい楽ラクレシピ



お料理研究家 こいけりえ



●餡作り

茹で上がった枝豆をすり鉢に入れ、よく豆をすり潰す。ミキサーやフードプロセッサを使ってペースト状にし





栃木県大田原市 佐藤田鶴子
夏休み、たら夏休み。

岡山市 高岩尚美
ハツカネズミ運動!



東京都世田谷区 鈴木通代
「弟ができて、おねえちゃんになったよ!」



愛知県春日井市 川合彰子
この年からオシャレとは、まいました。



新潟県三条市 坂井進
「お正月に作ったかまくらのな」



福岡県北九州市 中島みどり
「秋ナス! グローブみたいでしょ」



鹿児島県鹿屋市 川田けい子
「きゃーっ逃げろ〜」



埼玉県越谷市 小林晴香
「お庭で採れたのお。たべたいな」



三重県松阪市 西口美穂子
夏はやっぱり花火だね!



神奈川県相模原市 山岸千津子
7人のひ孫♪



群馬県伊勢崎市 山口花子
「今日も暑くなりそうだ」



愛知県岡崎市 鈴木直子
初めての遠足はお花見。



愛知県西尾市 朝岡マサエ
「はじめは遊んでても、寝ちゃうんだよね」



埼玉県川島町 伴美穂
今年も節電プール。



愛知県大府市 浅野美沙希
デカ眼鏡!



千葉県松戸市 宝来古里
歯が生えたり、抜けたり!



愛知県一宮市 安田こうきち
2人でツーリング中だよん。



東京都八王子市 引間俊雄
「いらっしゃいませ」

写真館

読者のコーナーにご投稿いただく写真は「いいなあ!」とほのぼのする瞬間ばかり。毎号の点数は限られているので

今回は一挙に大公開!

たくさんいただいた皆さま
どうもありがとうございました。



東京都中野区 新居佐和子
自慢の双子の孫と一緒にパチリ♪



静岡県富士宮市 深沢明美
2人そろって、米寿。次は白寿だ♥



愛知県西尾市 河合弘子
桃太郎見参!

三重県四日市市 浅川八重子
春からは小学生♪

三重県菟野町 内山喜美子
「こんなキレイな海はじめて!」





たんぽぽ

北海道北見市 山本知恵子

6月初め、主人が散歩から帰るなり、「すごく嬉しいことがあった」と言うのです。聞けば、歩いていると、前から来た小学3、4年生くらいの女の子が立ち止まり、「こんにちは」と会釈。挨拶した後「あのー、この前ティッシュくれたおじさんですか？」主人はちよっと思い出して、「そうだったね」と言う」と「ありがとうございしました」とまた会釈。その後、学校や運動会のことを話し、手を振って別れたそうです。私が、「ティッシュ？」と聞くと、数日前、ランドセル姿の男の子と女の子が道端でたんぽぽの花摘みをしていたので、懐かしくて一緒に混ぜてもらったそうです。花を抱え、汚れた手を拭くのに「ティッシュ貸してください」「女の子に差し出すと、まず男の子に貸してから自分も使い、「いいですか」と聞いて主人の持っていたゴミ袋に入れたそうです。礼儀正しく可愛い「たんぽぽ」のような女の子でした。

——ぼっ明るいお日さまが照ってきた気分。



昔は…

福井県永平寺町 末永香子

小3のひ孫が学校から帰ってきて、すぐに私の元へ。先生からおじいちゃんかおばあちゃんに昔の話を聞いてきなさいと言われたそうです。「おばあちゃん、昔は携帯あったの？」「そんな物はなかったよ。テレビも冷蔵庫もなく、洗濯機もないから、みんな手で洗ったよ。」ひ孫はテレビもなかったの目を丸くして驚きました。戦争があつて大変だったこと。何もなければ、とにかく皆が頑張ったことなど、昔の苦勞話を聞いてもらいました。そんな話をしても、今の子供はわからないでしょうが。時代が変わつて、欲しいものは何でも手に入る様になりましたが、やっぱり私達は「もったいない」がすぐに「出」てしまいます。

——すこしはわかった。聞けてよかったよ(ひ孫)



お先にどうぞ

広島県福山市 寺島ユウ

ATMに並んでいた時のことです。入り口から壁をつたって、足をひきずりながら入ってこられたお年寄りがいきました。私は介護の仕事をしているので、その男性が気になり、思い切つて列を離れ、両手をにぎつて誘導してあげました。

その後、またATMの列の最後尾に並ぼうとすると、私を見ていたのか、並んでいる方々が、「お先にどうぞ」と私に順番をゆずつて下さり、優しいあとおびつくりしました。

——うれしい出来事でした。



自分で

山口県下関市 山本豊子

私の主人はザ亭主闊白。座ったまま手の届く所でも私を使います。ある日、娘が孫をつれて、我が家に遊びに来ました。いつも通り、アレを取ってくれと私をつかう夫。すると突然、「自分のことは自分でしましょう！」と孫が大きな声で一喝！みんなは大笑い。今では私もこの言葉を使っています。孫には教えられることもしばしば。孫って本当にかわいいですね。

——ツルヤイオン(おひい)のひいお。



トウモロコシ

富山県射水市 宇野知子

先日、娘とゆでたトウモロコシを食べていました。娘は一生懸命ヒゲを取りながら、「トウモロコシ、ヒモはえとるから取つとんがー」「ヒモじゃなくて、ヒゲつて言うんやよ」と、嬉しそうにヒゲを取る娘に教えると、「へえトウモロコシって男なんだ!!」思わず大笑。子どもの想像力は素晴らしい。いつも楽しませてもらつてばかりです。

——面白いと、もっとおいしいトウモロコシ。



ぴかぴか

栃木県宇都宮市 刈部絹江

休み時間は子供達とのおしゃべりタイム。「先生、あのね…」が始まり、M子ちゃんが先陣をきる。「ゆうべね、テレビでおかあさんとオペラを見ながら、真つ黒こげのお鍋を磨いていたら、いつの間にか、ぴかぴかになつちやうつたの」「えっ?…あら、そう!」私は小学1年生のオペラ鑑賞にも驚いたが、いつの間にかお鍋がぴかぴかの方にシヨックを受けた。日々の忙しさに追われ、家の掃除など上辺だけの作業をしていなかったか。日頃から子供達には、「出来るまで」「辛くても」「最後まで」とか言っている自分。この時ばかりは持つ続ける大切さを教えられたような気がした。

——負つた子に教えられ…。



初めて

千葉県市原市 中島洋子

先日、近所のホームセンターから家へ帰る途中で男子高校生の一団と出会いました。自転車片手に大きなベニヤ板を抱えて、悪戦苦闘。文化祭で使うために学校まで運ぶそうです。おせっかいな私は軽乗用車をワゴン車に乗り換えて、板を学校に運ぶことにしました。一人の生徒と、その子の自転車もせて出発。学校に向かう道で、おとなしそうなその子は、文化祭の話をしてくれた後に、「こう言いました。「僕はこんなに人に良くしてもらつたのは、生まれて初めてです。これから、僕も今以上に人に親切にしていきたい!」……!」こんなに恩義を感じてもらつて、私の方が感動してしまい、とても幸せな気持ちになりました。

——うむ、すなおだなあ!

「ぜっぴん笑顔!」



山口県岩国市 上岡美智子

●みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくつてまいります。どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先
〒163-0223 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
電話 03(5909)6703
e-mail:koho4@mail.duskin.co.jp

お知らせ
書籍「ほほえみのひろば」発売中
●出版社:マガジンハウス ●価格:1100円(税込)
全国の書店で販売しています。

No.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます
http://www.duskin.co.jp/torikumi/tanemaki/index.html

●2ページの中村みつをさんのアトリエ
〒167-0022 東京都杉並区下井草5-12-10-109

あなたのお便りや写真をお寄せください

愛の輪

誰かが心地よい暮らしつつ、



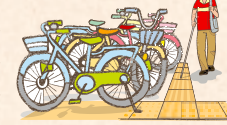
愛のともしび
人はみな、弱くかなしく
さびしいものよ
生きる力は、愛のともしび
思いやり、いたわりあつて
相手をせめず
生きるとうとき、愛のともしび

燈々無尽
にこやかに、声をかければ
たのしいものよ
生きるよろこび、愛のともしび

鈴木清一

第3回 点字ブロックが2種類あるって知っていましたか?

歩道などに敷かれた点字ブロックには、4本の突起したラインがある誘導ブロックと複数の小さい丸い突起がある警告ブロックとがあります。視覚に障害がある人は誘導ブロックで進路を確認し、警告ブロックで危険箇所や施設があることを察知します。点字ブロックは進路や危険など大切な情報を伝えるシグナル。自転車など物を置く場所には心を配りたいですね。



このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。
☎06-6821-5270 HP (http://www.ainowa.jp/)

愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障害のある若者に、海外での研修支援を行っています。

かみのやま
🌱 エコな取り組み ~山形県上市市~
古き良き習慣おさがりが復活

山形県上市市の幼稚園や保育園に、子ども服をゆずりあえる「おさがりボックス」があります。小さくなった服を洗濯して置いておくと、ほしい人がおさがりとしてもらえる仕組みで、もらい手がないものは市がリサイクルします。



か
さ
が
り
服



●ダスキンでもさまざまなエコ活動を実践中。
webで「ダスキンのエコ」を検索してね。

ダスキンのお客様係募集中!!

詳しくはwebで

お客様係

検索

※お仕事内容や募集要項をご覧ください。



携帯からも
アクセス

お楽しみクイズ

上市市の幼稚園などで
服をゆずりあえるのは?



ボックス

正解者の中から30名様に
「キッチンきれいセット」を
プレゼント!



下記の要領でご応募ください。

- ハガキに
①クイズの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢
⑥性別 ⑦電話番号 ⑧ご利用のダスキン店名
⑨この新聞内で好きなコーナーをご記入の上、
下記あて先までお送りください。
 - クイズ専用のあて先 ※郵便番号(住所不要)とあて先を
〒163-0265 ご記入の上お送りください。
(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞no.519」
クイズプレゼント係
 - 締め切り 平成24年8月10日(金)当日消印有効
 - ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。
 - 当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
(平成24年8月下旬お届け予定)
 - 応募に関してのお問い合わせ TEL:03-5909-6703
※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。
- 今回ご応募いただいた個人情報については、(株)ダスキンの範囲内でのみ利用させていただきます。プレゼントの抽選・発送の目的以外には使用いたしません。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係 TEL:03-5909-6703 までご連絡ください。
no.517のクイズの答えは「バイオ(エタノール)」でした。

●この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集室

〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)

TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報の取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただきます。なお、お預かりした個人情報はダスキングループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.jp